(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第3559592号

(P3559592)

(45)発行日　平成16年9月2日(2004.9.2)　(24)登録日　平成16年5月28日(2004.5.28)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
H04L 29/06	H04L	13/00	305B
H04L 12/00	H04M	11/00	303
H04M 11/00	H04L	11/00	
// H04N 1/32	H04N	1/32	F

請求項の数 6　(全 10 頁)

(21)出願番号　特願平6-251503
(22)出願日　平成6年9月20日(1994.9.20)
(65)公開番号　特開平8-88667
(43)公開日　平成8年4月2日(1996.4.2)
審査請求日　平成13年9月12日(2001.9.12)

(73)特許権者　000001007
キヤノン株式会社
東京都大田区下丸子３丁目３０番２号
(74)代理人　100081880
弁理士　渡部　敏彦
(72)発明者　三部　英雄
東京都大田区下丸子３丁目３０番２号　キヤノン株式会社内

審査官　矢頭　尚之

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ネットワークシステム及びその制御方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

送信プロトコルが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続したネットワークシステムにおいて、送信先とそれに対応した複数の送信プロトコルとを記憶する記憶手段と、前記ネットワークを介して端末装置から送信先の指定及び送信データを受け付ける受付手段と、前記記憶手段の記憶内容から、指定された送信先に対応する送信プロトコルを複数の送信プロトコルの中から前記記憶された送信先の情報に基づき少なくとも１つ選択し設定する設定手段と、前記受付手段で受け付けた送信データを前記設定手段で設定された送信プロトコルに応じた形式に変換する変換手段と、前記変換手段で変換された送信データを前記設定手段で設定された送信プロトコルによって送信先の端末装置に送信する送信手段とを有することを特徴とするネットワークシステム。

【請求項２】

前記送信手段は、送信先が複数指定された場合に、同一の送信データを各送信先に対応した送信プロトコルで送信することを特徴とする請求項１記載のネットワークシステム。

【請求項３】

送信アドレスが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続したネットワークシステムにおいて、送信先とそれに対応した送信アドレスであって優先順位が設けられ、かつそれぞれ送信プロトコルの異なる複数の送信アドレスとを記憶する記憶手段と、前記記憶手段の記憶内容から、指定された送信先に対応する優先順位の高い送信アドレスで送信データを送信するとともに、その優先順位の高い送信アドレスで送信できない場合は、次に

優先順位の高い送信アドレスで送信する制御手段とを有することを特徴とするネットワークシステム。
【請求項４】
送信プロトコルが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続し、且つ前記端末装置とネットワークを介して接続された記憶装置を有するネットワークシステムの制御方法において、送信先とそれに対応した複数の送信プロトコルとを前記記憶装置に記憶する記憶工程と、前記ネットワークを介して端末装置から送信先の指定及び送信データを受け付ける受付工程と、前記記憶工程で記憶された記憶内容から、指定された送信先に対応する送信プロトコルを複数の送信プロトコルの中から前記記憶された送信先の情報に基づき少なくとも１つ選択し設定する設定工程と、前記受付工程で受け付けた送信データを前記設定工程で設定された送信プロトコルに応じた形式に変換する変換工程と、前記変換工程で変換された送信データを前記設定工程で設定された送信プロトコルによって送信先の端末装置に送信する送信工程とを有することを特徴とするネットワークシステムの制御方法。
【請求項５】
前記送信工程は、送信先が複数指定された場合に、同一の送信データを各送信先に対応した送信プロトコルで送信することを特徴とする請求項４記載のネットワークシステムの制御方法。
【請求項６】
送信アドレスが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続し、且つ記憶手段を有するネットワークシステムの制御方法において、送信先とそれに対応した送信アドレスであって優先順位が設けられ、かつそれぞれ送信プロトコルの異なる複数の送信アドレスとを前記記憶手段に記憶する記憶工程と、指定された送信先に対応する優先順位の高い送信アドレスで送信データを送信するとともに、その優先順位の高い送信アドレスで送信できない場合は、次に優先順位の高い送信アドレスで送信する制御工程とを有することを特徴とするネットワークシステムの制御方法。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【産業上の利用分野】
本発明は、送信方法が互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続したネットワークシステム及びその制御方法に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来、データの送受信は、各々の端末装置単独で行っていた。
【０００３】
例えば、データを送信する場合、送信者は送信データ形式に応じて種々の端末装置から送信する端末装置を選択し、その送信プロトコルに従って、送信データ及び送信先を入力して送信を行っていた。送信データの入力方法は、紙等の媒体に入力されたものを再度端末装置に入力していた。また、送信先の入力方法は、送信する端末装置に事前に登録されているアドレスから選択したり、直接アドレスの入力を行っていた。
【０００４】
また、一つの送信データを送信方法が異なる複数の相手に送信を行う場合、送信者は数種類の送信データ形式（テキストデータファイル、イメージデータファイル、紙に出力等）を用意し、前記送信手順を行わなければならなかった。
【０００５】
その他、送信先に対応した送信方法がエラー等の発生で送信できなかった場合、送信者は他の送信方法を選択し、前記送信手順を行わなければならなかった。
【０００６】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、上記従来例では、データの送受信を各々の端末装置単独で行っていたため、次のような欠点があった。

【０００７】
（１）　送信を行う場合、送信者は送信データを紙等の媒体に出力して、その送信データ形式に対応した送信端末装置を選択し、その端末装置まで送信データと送信先アドレスを持って移動し送信を行うという作業が必要であった。
【０００８】
（２）　一つの送信データを送信方法が異なる複数の相手に送信を行う場合、送信者は数種類の送信データ形式（テキストデータファイル、イメージデータファイル、紙に出力等）を用意し、前記送信手順を行わなければならなかった。
【０００９】
（３）　送信先に対応した送信方法がエラー等の発生で送信が行えない場合、送信者は他の送信方法を選択し、前記送信手順を行わなければならなかった。
【００１０】
（４）　個々の端末装置ごとに送信先のアドレスデータを持つため、各々の端末装置間で記憶データが重複し、記憶装置の利用効率が悪かった。また、送信先のアドレス等が変更になった場合、複数の端末装置の登録内容を変更するという手間があった。
【００１１】
そこで、本発明は、上記事情に鑑みてなされたおのであり、送信者の負担軽減を図れ、しかも記憶領域の利用効率向上を図ったネットワークシステム及びその制御方法を提供することを目的とする。
【００１２】
【課題を解決するための手段】
請求項１記載のネットワークシステムは、送信プロトコルが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続したネットワークシステムにおいて、送信先とそれに対応した複数の送信プロトコルとを記憶する記憶手段と、前記ネットワークを介して端末装置から送信先の指定及び送信データを受け付ける受付手段と、前記記憶手段の記憶内容から、指定された送信先に対応する送信プロトコルを複数の送信プロトコルの中から前記記憶された送信先の情報に基づき少なくとも１つ選択し設定する設定手段と、前記受付手段で受け付けた送信データを前記設定手段で設定された送信プロトコルに応じた形式に変換する変換手段と、前記変換手段で変換された送信データを前記設定手段で設定された送信プロトコルによって送信先の端末装置に送信する送信手段とを有することを特徴とするものである。
【００１３】
請求項２記載のネットワークシステムは、請求項１記載のネットワークシステムにおいて、前記送信手段は、送信先が複数指定された場合に、同一の送信データを各送信先に対応した送信プロトコルで送信することを特徴とするものである。
【００１４】
請求項３のネットワークシステムは、送信アドレスが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続したネットワークシステムにおいて、送信先とそれに対応した送信アドレスであって優先順位が設けられ、かつそれぞれ送信プロトコルの異なる複数の送信アドレスとを記憶する記憶手段と、前記記憶手段の記憶内容から、指定された送信先に対応する優先順位の高い送信アドレスで送信データを送信するとともに、その優先順位の高い送信アドレスで送信できない場合は、次に優先順位の高い送信アドレスで送信する制御手段とを有することを特徴とするものである。
請求項４のネットワークシステムの制御方法は、送信プロトコルが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続し、且つ前記端末装置とネットワークを介して接続された記憶装置を有するネットワークシステムの制御方法において、送信先とそれに対応した複数の送信プロトコルとを前記記憶装置に記憶する記憶工程と、前記ネットワークを介して端末装置から送信先の指定及び送信データを受け付ける受付工程と、前記記憶工程で記憶された記憶内容から、指定された送信先に対応する送信プロトコルを複数の送信プロトコルの中から前記記憶された送信先の情報に基づき少なくとも１つ選択し設定する設定工程と、前記受付工程で受け付けた送信データを前記設定工程で設定された送信プロトコルに応

じた形式に変換する変換工程と、前記変換工程で変換された送信データを前記設定工程で設定された送信プロトコルによって送信先の端末装置に送信する送信工程とを有することを特徴とするものである。
請求項５のネットワークシステムの制御方法は、請求項４記載のネットワークシステムの制御方法において、前記送信工程は、送信先が複数指定された場合に、同一の送信データを各送信先に対応した送信プロトコルで送信することを特徴とするものである。
請求項６のネットワークシステムの制御方法は、送信アドレスが互いに異なる複数の端末装置をネットワークに接続し、且つ記憶手段を有するネットワークシステムの制御方法において、送信先とそれに対応した送信アドレスであって優先順位が設けられ、かつそれぞれ送信プロトコルの異なる複数の送信アドレスとを前記記憶手段に記憶する記憶工程と、指定された送信先に対応する優先順位の高い送信アドレスで送信データを送信するとともに、その優先順位の高い送信アドレスで送信できない場合は、次に優先順位の高い送信アドレスで送信する制御工程とを有することを特徴とするものである。
【００１５】
【作用】
請求項１記載のネットワークシステム及び請求項４記載のネットワークシステムの制御方法によれば、送信先を指定すると、送信手段は、記憶手段の記憶内容から送信先に対応した送信プロトコルで、送信プロトコルに応じた形式に変換された送信データを送信する。これにより、送信者は、送信先を指定するだけで送信データを送信できるので、送信者の負担が軽減される。また、送信先に対応した複数の送信プロトコルを個々の端末装置毎に記憶させるのではなく、記憶手段に記憶させることにより、記憶領域の利用効率の向上が図れ、記憶内容の変更も容易となる。
【００１６】
請求項２記載のネットワークシステム及び請求項５記載のネットワークシステムの制御方法によれば、複数の送信先を指定すると、送信手段は、記憶手段の記憶内容から各送信先に対応した送信プロトコルで、送信プロトコルに応じた形式に変換された送信データを送信する。これにより、複数相手へ同時送信が可能となり、送信効率が向上する。
【００１７】
請求項３記載のネットワークシステム及び請求項６記載のネットワークシステムの制御方法によれば、優先順位の高い送信アドレスでの送信が、端末装置のエラー等の発生により行えない場合は、次の優先順位の送信アドレスが選択され再送信が行われる。
【００１８】
【実施例】
以下、本発明の実施例を図面を参照して詳述する。
【００１９】
図１は本発明のネットワークシステムの一実施例を示すブロック図である。
【００２０】
このネットワークシステムは、送信方法が互いに異なる複数の端末装置としての情報処理装置１、インテリジェントプリンタ（以下「ｉプリンタ」と略す。）２、インテリジェントファックス装置（以下「ｉＦＡＸ」と略す。）３及びインテリジェント電話装置（以下「ｉＴＥＬ」と略す。）４を各々ネットワーク５に接続するとともに、さらにアドレスサーバ装置６をネットワーク５に接続したものである。
【００２１】
情報処理装置１は、データの入力、処理、編集及び出力を行うものであり、ネットワーク５の制御をも行うオペレーティングシステムが組み込まれている。
【００２２】
ｉプリンタ２は、他の装置から送られてきたデータを出力するものであり、高速、高品質等の多機能を有したインテリジェントなプリンタである。
【００２３】
ｉＦＡＸ３は、公衆回線７にも接続され、公衆回線７を介してデータを送受信するもので

あり、書式の設定、複数の相手への送信等の多機能を有したインテリジェントなＦＡＸである。

【００２４】

ｉＴＥＬ４は、公衆回線７にも接続され、ネットワーク５を利用して効果的、効率的に対話を行うことができる等の多機能を有したインテリジェントな電話である。

【００２５】

アドレスサーバ装置６は、記憶部６０と、制御部６１とを具備している。記憶部６０には、個人名とその個人名に対応して電話番号、ＦＡＸ番号及びメールアドレス等の個人アドレスデータが個人アドレスデータベースとして登録されており、ネットワーク５に接続された他の端末装置１、２、３、４からのデータの検索が可能となっている。なお、記憶部６０には、個人名とその個人名に対応して優先順位を設けて電話番号、ＦＡＸ番号及びメールアドレス等の個人アドレスデータを記憶させてもよい。また、制御部６１は、情報処理装置１にて送信先個人名が選択された場合に、送信先に対応した送信方法で送信データを送信するものであり、送信先個人名が複数選択された場合は、同一の送信データを各送信先に対応した送信方法で送信するものである。また、制御部６１は、選択された送信先に対応した優先順位の高い送信方法で送信データを送信するとともに、その優先順位の高い送信方法で送信できない場合は、次に優先順位の高い送信方法で送信するものである。

【００２６】

これらの情報処理装置１、ｉプリンタ２、ｉＦＡＸ３及びｉＴＥＬ４及びアドレスサーバ装置６は、ネットワーク５を介して互いに接続されているので、単独装置として使用するだけでなく、相互に個々の機能を利用することもできる。

【００２７】

次に、本実施例の動作を図２乃至図４に示すフローチャートに従って説明する。図２はＦＡＸ送信を行う場合の処理を示すフローチャート、図３は一つの送信データを基にＦＡＸ送信及び電子メール送信を行う場合の処理を示すフローチャート、図４は設定された送信方法で送信できない場合に、次の優先順位の送信方法で再送信を行う場合の処理を示すフローチャートである。

【００２８】

（１）　ＦＡＸ送信を行う場合（図２参照）

まず、送信者は、ネットワーク５に接続された情報処理装置１上で送信データを作成する（Ｓ２１）。なお、データを作成する装置は他の端末装置２、３、４でもよく、また送信データの形式は特に意識する必要はない。

【００２９】

次に、情報処理装置１上からアドレスサーバ装置６の記憶部６０をアクセスして送信先個人名を選択し、その個人名を送信データとともに情報処理装置１からアドレスサーバ装置６に転送する（Ｓ２２）。

【００３０】

アドレスサーバ装置６の制御部６１は、選択された個人名を基に、記憶部６０に登録されている送信方法と送信アドレスを検索して設定する。本実施例では選択された個人名に対応する送信方法としてＦＡＸ送信が登録されていると仮定しており、送信方法としてＦＡＸ送信、送信アドレスとしてＦＡＸ番号が設定される（Ｓ２３）。

【００３１】

送信方法及び送信アドレスが設定されると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信データが送信方法に合致したデータ形式か否かを判定し（Ｓ２４）、もし、合致しない場合は送信データを送信方法に合致したデータ形式に変換する（Ｓ２５）。本実施例では送信方法がＦＡＸ送信なので、テキストデータをイメージデータに変換する。

【００３２】

送信データを変換して送信の準備が終了すると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信アドレス（ＦＡＸ番号）と送信データ（イメージデータ）を対応するｉＦＡＸ３に送る（Ｓ２６）。

【００３３】
ｉＦＡＸ３は、送られてきた情報を基にＦＡＸ送信を行う（Ｓ２７）。
【００３４】
以上の処理は、送信者がアドレスサーバ装置６から送信先個人名を選択し、アドレスサーバ装置６に送信データを転送したことにより、処理が自動的に行われる。
【００３５】
（２）　　ＦＡＸ送信及び電子メール送信を行う場合（図３参照）
まず、送信者は、ネットワーク５に接続された情報処理装置１上で送信データを作成する（Ｓ３１）。
【００３６】
次に、情報処理装置１上からアドレスサーバ装置６の記憶部６０をアクセスして送信先個人名を複数選択して同時に複数の人への送信を指示し、各個人名を送信データとともに情報処理装置１からアドレスサーバ装置６に転送する（Ｓ３２）。本実施例では、二人を指名したと仮定する。
【００３７】
アドレスサーバ装置６の制御部６１は、選択された複数（二人）の個人名を基に、それぞれに登録されている送信方法と送信アドレスを検索して設定する。本実施例では送信方法として一人がＦＡＸ送信、もう一人が電子メール送信が登録されていると仮定しており、ＦＡＸ送信とＦＡＸ番号、電子メール送信とメールアドレスが設定される（Ｓ３３）。
【００３８】
送信方法及び送信アドレスが設定されると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信データが送信方法に合致したデータ形式か否かを判定し、もし、合致しない場合は送信データを送信方法に合致したデータ形式に変換する（Ｓ３４）。ＦＡＸ送信の場合はイメージデータに変換し、電子メール送信の場合はテキストデータ形式に変換する等のデータを変換して送信の準備が終了すると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信アドレス（ＦＡＸ番号）と送信データ（イメージデータ）を対応するｉＦＡＸ３に送り、送信アドレス（メールアドレス）と送信データ（テキストデータ）を対応する情報処理装置１に送る（Ｓ３５）。ｉＦＡＸ３及び情報処理装置１は、それぞれに送られてきた情報を基に送信を行う（Ｓ３６）。
【００３９】
以上の処理は、送信者がアドレスサーバ装置６から送信先個人名を複数選択し、アドレスサーバ装置６に送信データを転送したことにより、同時送信が自動的に行われる。
【００４０】
（３）　　設定された送信方法で送信をできない場合（図４参照）
まず、送信者は、ネットワーク５に接続された情報処理装置１上で送信データを作成する（Ｓ４１）。
【００４１】
次に、情報処理装置１上からアドレスサーバ装置６の記憶部６０をアクセスして送信先個人名を選択し、送信データを情報処理装置１からアドレスサーバ装置６に転送する（Ｓ４２）。
【００４２】
アドレスサーバ装置６の制御部６１は、選択された個人名を基に、登録されている第１優先順位の送信方法と送信アドレスを検索して設定する。本実施例では第１優先順位の送信方法はＦＡＸ送信が登録されていると仮定しており、ＦＡＸ送信とＦＡＸ番号が設定される（Ｓ４３）。
【００４３】
送信方法及び送信アドレスが設定されると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信データが送信方法に合致したデータ形式か否かを判定し、もし、合致しない場合は送信データを送信方法に合致したデータ形式に変換する（Ｓ４４）。本実施例では送信方法がＦＡＸ送信なのでイメージ形式のデータを作成する。送信データを変換して送信の準備が終

了すると、アドレスサーバ装置６は送信アドレス（ＦＡＸ番号）と送信データ（イメージデータ）をｉＦＡＸ３に送る（Ｓ４５）。

【００４４】

ｉＦＡＸ３は、送られてきた情報を基にＦＡＸ送信を行おうとするが、エラーが発生して、送信ができなかったとする。ｉＦＡＸ３は、送信ができなかったことをアドレスサーバ装置６に返送する（Ｓ４６）。

【００４５】

アドレスサーバ装置６の制御部６１は、選択された個人名を基に、登録されている第２優先順位の送信方法と送信アドレスを検索し、第２優先順位の送信方法での送信を行う。本実施例では第２優先順位の送信方法は電子メール送信が登録されていると仮定しており、電子メールとメールアドレスが設定される（Ｓ４７）。

【００４６】

送信方法及び送信アドレスが設定されると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信データが送信方法に合致したデータ形式か否かを判定し、もし、合致しない場合は送信データを送信方法に合致したデータ形式に変換する（Ｓ４８）。

【００４７】

送信データを変換して送信の準備が終了すると、アドレスサーバ装置６の制御部６１は、送信アドレス（メールアドレス）と送信データ（テキストデータ）を対応する情報処理装置１に送る（Ｓ４９）。

【００４８】

情報処理装置１は、送られてきた情報を基に電子メール送信を行い、送信終了後は送信が終了したことをアドレスサーバ装置６に返送する（Ｓ４６）。

【００４９】

以上の処理は、送信者がアドレスサーバ装置６から送信先個人名を選択し、アドレスサーバ装置６に送信データを転送したことにより、処理が自動的に行われる。

【００５０】

このような本実施例によれば、ネットワーク５に接続された各端末装置１、２、３、４から、アドレスサーバ装置６をアクセスして送信先個人名を選択し、送信データをアドレスサーバ装置６に転送することで、送信先とそれに対応した送信方法が設定され、情報処理装置１と各インテリジェントな周辺装置２、３、４が自動送信を行うので、送信者は、電話番号、ＦＡＸ番号、メールアドレス等を入力することなく、かつ他の端末装置１、２、３、４まで移動することなく、データ送信を行うことができる。また、一つの送信データを送信方法の異なる複数の端末装置１、２、３、４に送信する場合は、上記送信手順を一回行うだけで終了する。その他、設定された送信方法に対応する端末装置１、２、３、４でエラー等が発生して送信できない場合は、次の優先順位の送信方法が設定され再送信を自動で行ってくれる。つまり、以上述べたようなネットワークシステムでインテリジェントなデータ送信が可能となる。また、個人アドレスデータは、アドレスサーバ装置６の記憶部６０に一元化して登録されているので、個人データの更新を容易に行うことができる等、ネットワークの保守、運用が容易になる。

【００５１】

なお、本発明は上記実施例に限定されず、その要旨を変更しない範囲内で種々に変形実施できる。

【００５２】

【発明の効果】

以上詳述した本発明によれば、以下の効果を奏する。

【００５３】

請求項１記載の発明及び請求項４記載の発明によれば、送信者は、送信先を指定するだけで送信データを送信でき、また、送信先に対応した複数の送信プロトコルを個々の端末装置毎に記憶させるのではなく、記憶手段に記憶させているので、送信者の負担軽減を図れ、しかも記憶領域の利用効率向上を図ったネットワークシステム及びその制御方法を提供

することができる。

【００５４】

請求項２記載の発明及び請求項５記載の発明によれば、指定された複数の送信先に対応した送信プロトコルで送信データを送信するので、複数相手へ同時送信が可能となり、送信効率が向上する。

【００５５】

請求項３記載の発明及び請求項６記載の発明によれば、優先順位の高い送信アドレスでの送信が端末装置のエラー等の発生により行えない場合でも、次の優先順位の送信アドレスが選択されて再送信を行えるので、他の送信アドレスの選択を行う必要がなく、また、送信先に対応したそれぞれ送信プロトコルの異なる複数の送信アドレスを個々の端末装置毎に記憶させるのではなく、記憶手段に記憶させているので、送信者の負担軽減をより図れ、しかも記憶領域の利用効率向上を図ったネットワークシステム及びその制御方法を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明のネットワークシステムの一実施例を示すブロック図である。

【図２】ＦＡＸ送信を行う場合の処理を示すフローチャートネットである。

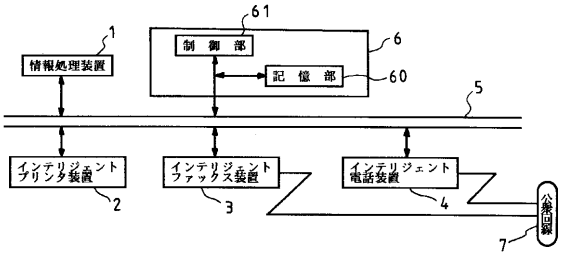
【図３】一つの送信データを基にＦＡＸ送信及び電子メール送信を行う場合の処理を示すフローチャートである。

【図４】設定された送信方法で送信できない場合に、次の優先順位の送信方法で再送信を行う場合の処理を示すフローチャートである。

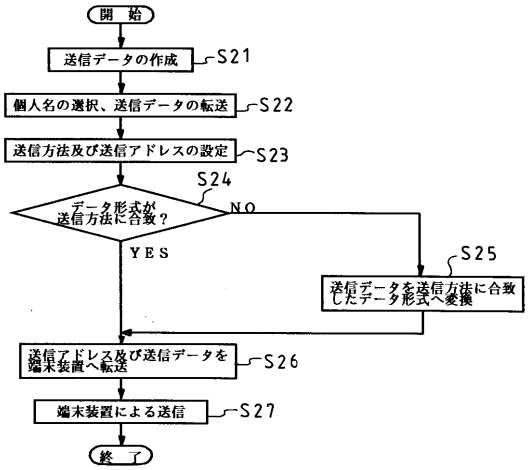
【符号の説明】

１　情報処理装置（端末装置）
２　インテリジェントプリンタ装置
３　インテリジェントファックス装置（端末装置）
４　インテリジェント電話装置
５　ネットワーク
６　アドレスサーバ装置
７　公衆回線
６０　記憶部
６１　制御部

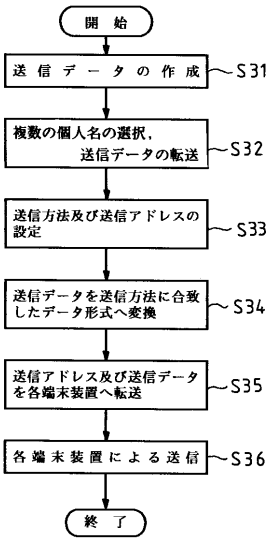
【図１】


61
制御部
6
記憶部
60
1
情報処理装置
5
インテリジェントプリンタ装置
2
インテリジェントファックス装置
3
インテリジェント電話装置
4
公衆回線
7

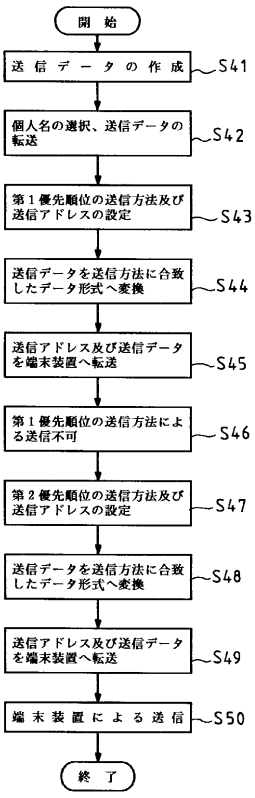
【図２】


開始
送信データの作成
S21
個人名の選択、送信データの転送
S22
送信方法及び送信アドレスの設定
S23
S24
データ形式が送信方法に合致？
NO
YES
S25
送信データを送信方法に合致したデータ形式へ変換
送信アドレス及び送信データを端末装置へ転送
S26
端末装置による送信
S27
終了

【図３】


開始
送信データの作成
S31
複数の個人名の選択，送信データの転送
S32
送信方法及び送信アドレスの設定
S33
送信データを送信方法に合致したデータ形式へ変換
S34
送信アドレス及び送信データを各端末装置へ転送
S35
各端末装置による送信
S36
終了

【図４】


開始
送信データの作成
S41
個人名の選択、送信データの転送
S42
第１優先順位の送信方法及び送信アドレスの設定
S43
送信データを送信方法に合致したデータ形式へ変換
S44
送信アドレス及び送信データを端末装置へ転送
S45
第１優先順位の送信方法による送信不可
S46
第２優先順位の送信方法及び送信アドレスの設定
S47
送信データを送信方法に合致したデータ形式へ変換
S48
送信アドレス及び送信データを端末装置へ転送
S49
端末装置による送信
S50
終了

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０５－３４７６２１（ＪＰ，Ａ）
特開平０６－０９０２５３（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－３１６１６４（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－３０８３７９（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－１９９３８７（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
H04L 29/06
H04L 12/00
H04M 11/00 303
H04N 1/32